

### 災害時の避難所の 運営について



中嶋 通治

**問** 設営、運営は誰がどのようにするのか。

**答** 職員が行う。突発的な災害の発生、開設の長期化では自主防災組織や地域住民の防災意識を高めるため、運営マニュアルの整備を推進。

**問** 避難所に入るための鍵の開閉について。

**答** 学校にキーボックスを設置し、複数人で対処。自治会長にもお願いしたい。

**問** 変異型ウイルスがまん延しているが対策は。

**答** 感染拡大を防止するために、動線や居住エリアをきちんと分ける。密を回避するために、自宅の垂直避難、知人宅への避難啓発に努める。

**問** 要援護者への対策、取り組みは。

**答** 支援が必要な人に支援が行きわたるよう、登録人数の精査を行う。

**問** 夜間の防災・減災訓練をやったらいかがか。

**答** 自主防災組織で要望があれば支援対応をしたい。

#### ◆病児・病後児保育について

**問** アンケート調査での対策は。

**答** 専用の予約システムを年内に稼働。24時間ネットで予約出来るようになる。

### 「障がい者サポート基金」の 活用等進捗状況は



戸田 馨

**問** 障がい者サポート基金について、吉川市障がい者の地域での生活を考える検討会議における議論等、基金活用における検討内容は。

**答** 第2期会議を開催し、「就労支援」をテーマに各委員から幅広い意見をいただき具体的な内容を検討中。その財源として基金の活用を考えている。基金についてはホームページへの掲載、リーフレットを市内関係者に配布し周知を図っている。財政面においても、基金への寄付の声も企業よりいただいている。

**問** 「吉川市空家等の適正管理に関する条例」について、実効性のある運用が必要と考えるが条例公布後の運用実態は。

**答** 市が把握している空家130件のうち、管理不全な状態の空家への適切管理を促すことで改善も見られるため、現在のところ条例に基づいた行政指導は行っていない。しかしながら、軽微な措置へ対処については市民から要望も上がっており、それに対応する条例の運用は必要だと考えている。今後は実効性のある条例運用を図っていきたい。

# 答えて市長！ 一般質問

今定例会では、9月21日(火)、22日(水)、24日(金)の3日間にわたり16名の議員が市政全般について、市の見解をただしました。主な内容を質問者が要約してお知らせします。詳細は会議録をご覧ください。

会議録は、ホームページや市立図書館で閲覧できますが、今定例会の会議録の提供は、12月上旬となる予定です。

※9月21日は加藤議長が体調不良により本会議を欠席したため、稲垣副議長が予定していた一般質問を取りやめ、議長に代わり議事進行を行いました。これに伴い、副議長の一般質問は、後日書面回答のあったものを要約して掲載しています。(12ページ)



### 大人たちが模範を示し 安心安全な通学路・生活道路に



降旗 聡

**問** 今年6月、千葉県八街市で下校中の小学生5人が飲酒運転の大型トラックにはねられ死傷するという、痛ましい交通事故が発生した。悲惨な事故が発生するたび、様々な課題を乗り越え、人命を守る環境を作っていくことが、私たち大人の責務であると、痛感させられる。通学路・生活道路の安全対策について市の見解は。

**答** 教育長からは、今年は通学路総点検の年であったが、事故を受け、各校に重ねて点検依頼をした。日々、地域や保護者、学校で組織的に点検している。が、点検を目的とせず、関係機関と連携して対策を講じていきたい。

子ども達の安心・安全を守るために何が出来るかを大人が、社会全体が、それぞれの立場で真剣に考え、できることを行っていくという姿勢を、子ども達に示す。そのことが大切と考えている。

**答** 市長からは、第一義は、運転者のマナー・モラルが出発。大人たちがしっかりと模範を見せるまちであるためにも、議員が提案したものも含め、まずは大人たちがしっかりとした自覚を持つといったことを、しっかりと進めていきたい。並行して通学路の安全を高めていく。